

文化庁「工芸技術記録映画」の特集

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター、文化庁

協力：株式会社日経映像、株式会社桜映画社、株式会社 CN インターボイス、
株式会社毎日映画社、株式会社プロコム・アソシエイト、株式会社シネマ沖縄、
山陽映画株式会社、株式会社グループ現代、一般社団法人記録映画保存センター



『蒔絵 一松田権六のわざー』 撮影：大堀一彦

開映後の入場はできません。

定員：151名（各回入替制）

発券：地下1階受付

料金：一般 500円 / 高校・大学生・シニア 300円 / 小・中学生 100円 /
障害者（付添者は原則1名まで）、キャンパスメンバーズは無料

- ・観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- ・発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- ・学生、シニア（65歳以上）、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- ・発券は各回1名につき1枚のみです。
- ・電力事情など今後の状況により急遽スケジュールが変更される可能性もございます。最新の情報は、当館ホームページまたはハローダイヤルにてご確認ください。

2011年11月25日（金） - 2012年1月15日（日）

東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール（地下1階）

※金曜日・土曜日・日曜日の上映となります。
（12月30日 - 1月1日は休映）

文化庁

「工芸技術記録映画」

の特集

文化庁が、重要無形文化財に指定された伝統工芸の優れたわざを記録する「伝統工芸記録映画」(現「工芸技術記録映画」)の製作に着手したのは1971年度のこと。これは、旧来の文書や写真等のメディアではとらえにくい工芸技術の工程を映像で克明に記録し、無形文化財の保存と後継者の養成、研究などに役立てることを目的としたもので、以来、ほぼ1年に1本のペースで継続的に製作が行われ、これまでに42本の映画が発表されています。それらの作品は、既に40年にも及ぶ蓄積の中で「記録」としての価値を増しながら、我が国の美術映画、あるいは文化・記録映画の文脈においても貴重かつユニークなシリーズを形成するに至っています。

本特集では、第1作の『蒔絵 - 松田権六のわざ -』から、計5作品が作られた昨年度の最新作——『釉裏金彩 - 吉田美統のわざ -』『鉄釉陶器 - 原清のわざ -』『鍍金 - 大澤光民のわざ -』『彫金 - 桂盛仁のわざ -』『鍛金 - 田口壽恒のわざ -』——まで、全作を美しいオリジナルの35mmフィルムで鑑賞いただける機会となります。

また、同時期に東京国立近代美術館工芸館(北の丸公園)で開催される「所蔵作品展 人間国宝と近代工芸の名品」(11月22日-2012年1月29日)では、上記の映画シリーズと関係する主要な工芸作品約60点を特集します。『蒔絵 - 松田権六のわざ -』で記録された後、工芸館へ移管された《蒔絵櫃に四十雀模様二段卓》や、『髹漆 - 増村益城のわざ -』に登場する《乾漆朱輪花盤》(当館寄託作品)のほか、京都国立近代美術館が所蔵する北村昭斎の螺鈿、文化庁が所蔵する田口壽恒の鍛金や中川清司の木工芸などの作品を陳列します。作品(展示)とその制作過程(映画)を比較しながら、お楽しみ下さい。

1 12/2 金 2:00pm 1/14 土 3:00pm

まきえ まつだ ごんろく
蒔絵 - 松田権六のわざ - (31分・35mm・カラー)
松田権六の作品《蒔絵櫃に四十雀模様二段卓》の制作工程を記録。蒔絵、平文、練り描き、螺鈿などの技術を紹介。

71年度(日経映画社) 山添哲 北條明直 森康 松田慶治郎 甲藤勇 広瀬量平 平光淳之助

いろなべしま
色鍋島 (29分・35mm・カラー)

いろえ
色絵磁器「色鍋島」の技術を今に受け継ぐ今泉右衛門の工房にカメラを据え、型打、素焼、上絵付、濃み、本焼などの高度に分業化された作業を記録。

72年度(桜映画社) 村山英治 木塚誠一 山根秀一 長沢勝俊 観世栄夫

2 12/2 金 6:00pm 12/24 土 0:00pm

ゆうそくおりもの きたがわ へいろう
有職織物 - 喜多川平朗のわざ - (30分・35mm・カラー)
平安時代以降公家の服飾に使われた多様な有職織物。皇室、神宮などの儀式用服飾に用いられる優れた伝統技法の研究と復元に努めた喜多川平朗のわざを記録。

73年度(日本シネセル) 山添哲 黒田清巳 岡本健一 辻井一郎 間宮芳生 城達也

てすきわし
手漉和紙 (31分・35mm・カラー)

こうぞ えちぜんほうしよ
楮厚紙の製作技術である重要無形文化財「越前奉書」の保持者・八代岩野市兵衛の製作工程を中心に記録し、併せて、楮薄紙の製作技術「土佐眞具帖紙」の濱田幸雄の紙漉ぎの工程を紹介。

74年度(日経映画社) 小谷田亘 北條明直 浅岡宮吉 松田慶治郎 時田紀一 湯浅謙二 和田篤

3 12/3 土 0:00pm 1/6 金 6:00pm

みやいりゆきひら
日本刀 - 宮入行平のわざ - (35分・35mm・カラー)

宮入行平が伝承する作刀技法のうち、最も基本となる地鉄の鍛錬法を中心に、「折れず曲らずよく切れる」日本刀をつくりだす工程を記録。

75年度(岩波映画製作所) 山内登貴夫 武満徹 伊藤惣一

いせ かたがみ
伊勢型紙 (30分・35mm・カラー)

和紙に柿渋をひいた型紙に、鋭い刀で細かく緻密な型模様を彫り込み染色用の型紙を制作する、錐彫、突彫、道具彫、縞彫の4種類の技法と、糸を入れて型紙を補強する糸入れの工程。

76年度(桜映画社) 村山英治 金山富男 山内忠 伊藤惣一

4 12/3 土 3:00pm 1/15 土 0:00pm

かき えもん
柿右衛門 - にごしで - (30分・35mm・カラー)

日本の代表的な色絵磁器のひとつである柿右衛門様式。十二代及び十三代柿右衛門父子によって復興された、濁手の高度な技術を記録。

77年度(記録映画社) 山添哲 金山富男 長谷川明夫 甲藤勇 長沢勝俊 城達也

ちようしつ おとまるこうどう
彫漆 - 音丸耕堂のわざ - (30分・35mm・カラー)

色漆を厚く塗り重ね、深淺自在に彫り込んで美しい彫模様を表現する彫漆の技法。独自の意匠で彫漆の世界を大きく広げた音丸耕堂に密着し《彫漆布袋葵文手箱》の制作工程を記録。

78年度(英映画社) 山添哲 宮下英一、小林治 前田基男 柳慧 甲藤勇 城達也

5 12/4 土 0:00pm 1/7 土 3:00pm

ちようせん かしま いっごく
彫金 - 鹿島一谷のわざ - (31分・35mm・カラー)

鹿島一谷の作品《龍銀柳文花器》の制作を通してその技を紹介。図案の構想、平象嵌、毛彫、鎔込象嵌、研出象嵌、布目象嵌等を用いた制作工程を記録。

79年度(日経映画社) 小谷田亘 北條明直 浅岡宮吉 松田慶治郎 広瀬量平 伊藤惣一

えちじ じようぶ
越後上布 (43分・35mm・カラー)

新潟県の魚沼地域で作られる織物、越後上布。原料である苧麻の刈り取りから一反の上布が織り上がるまでの、80日間におよぶ精密な手作業を記録。

80・81年度(岩波映画製作所) 時枝俊江 八木義順

6 12/4 土 3:00pm 1/6 金 2:00pm

きゆうしつ ますむらしまき
髹漆 - 増村益城のわざ - (32分・35mm・カラー)

木地や布、和紙に漆を塗り重ねることで、美しくて強靱な器物を生み出す髹漆の技法。増村益城の乾漆技術を駆使した作品《乾漆朱輪花盤》の制作工程を記録。

82年度(日経映画社) 小谷田亘 浅岡宮吉 水村富雄 牧野由多可 伊藤惣一

ちゃ ゆがま かたにいっけい
茶の湯釜 - 角谷一圭のわざ - (31分・35mm・カラー)

角谷一圭による《馬ノ図真形釜》の構想から仕上げまでの全制作工程を記録。古今の名品を研究し、伝統と現代感覚を調和させた新しい昭和の茶の湯釜が完成するまでの姿を追う。

83年度(記録映画社) 倉本忍 金山富男 森準蔵 甲藤勇 内倉巖 和田篤

7 12/9 金 2:00pm 12/25 土 3:00pm

かたぞ えど ごもん ながいちちゆうがた
型染め - 江戸小紋と長板中形 - (30分・35mm・カラー)

重要無形文化財「江戸小紋」の保持者・小宮康孝、同じく「長板中形」の保持者・清水幸太郎、それぞれの伝統的な型染めの制作工程を丹念に記録して、広く染色工芸の魅力を伝える。

84年度(英映画社) 山添哲 金山富男、小林治 前田基男 柳慧 加藤一郎 和田篤

まきえ おおばしやうぎょ ひょうもん
蒔絵 - 大場松魚の平文のわざ - (32分・35mm・カラー)

金、銀の薄板を文様の形に切り、器物を装飾する平文の技法。平文と蒔絵を併用して独自の作風を確立した、重要無形文化財「蒔絵」の保持者・大場松魚による作品《平文輪彩箱》の制作工程を記録。

85年度(日経映像) 小谷田亘 北條明直 高畦圭一、浅岡宮吉 松橋仁之 広瀬量平 伊藤惣一

8 12/9 金 6:00pm 1/14 土 0:00pm

まきえ てらいなおじ らんかく
蒔絵 - 寺井直次の卵殻のわざ - (30分・35mm・カラー)

鶺鴒などの卵の殻を細かく割り、純白の文様を表現する卵殻の技法。卵殻を蒔絵に併用し重要無形文化財「蒔絵」の保持者に認定された寺井直次。独自の技法による《金胎蒔絵漆箱 飛翔》の制作工程を記録。

87年度(日経映像) 山添哲 高畦圭一 松橋仁之 甲藤勇 広瀬量平 伊藤惣一

ゆうぜん もりくちかこう
友禅 - 森口華弘のわざ - (30分・35mm・カラー)

蒔糊の技法を開発し、糸目糊や蒔糊を駆使した友禅染めの絢爛たる世界を作り上げた森口華弘。《友禅訪問着 精華》の制作工程を記録。

88年度(桜映画社) 山添哲 江連高元 水村富雄、岡本健一 甲藤勇 長沢勝俊 伊藤惣一

9 12/10 土 0:00pm 1/8 日 3:00pm

もくこうげい おおのしょうわせい さしもの
木工芸 - 大野昭和齋の指物のわざ -
(30分・35mm・カラー)

日本の伝統的な木工芸の技術に独自の創意を加えた大野昭和齋。葡萄杵をもつ桑の銘木材を用い、精緻な指物技法を駆使した《桑造線象嵌箱》の制作工程を記録。

'89年度(毎日映画社) ◎◎石井敏朗 ◎上原新次 ◎相田隆久 ◎井形正 ◎原正美 ◎和田篤

くろめ かずり
久留米緋 (30分・35mm・カラー)

木綿の糸を天然藍で染め、紺地に白の緋模様を織り上げる久留米緋。そのデザインから緋糸の手くびり・藍染・手織りなどの伝統的な技術を制作工程に従って記録。

'90年度(記録映画社) ◎◎山添哲 ◎金山富男 ◎森澤蔵 ◎伊藤忍 ◎出川史郎 ◎伊藤忍一

10 12/10 土 3:00pm 1/13 金 2:00pm

ちくこうげい いづつかしよかんざい
竹工芸 - 飯塚小环齋のわざ - (30分・35mm・カラー)

我が国特有の竹工芸の技法の研鑽を重ね、伝統と現代を融合した風格ある作風を確立した飯塚小环齋。《松葉編白鍔花籃 白龍》の制作工程を記録。

'91年度(プロコムジャパン) ◎◎山添哲 ◎広内捷彦 ◎伴野功 ◎堀内戦治 ◎出川史郎 ◎伊藤忍一

みやこじょうふ
宮古上布 (40分・35mm・カラー)

宮古島の風土と亜熱帯の気候の中で育まれた苧麻の織物、宮古上布。島の古老たちの手による苧麻の収穫や繊維取り、糸づくり、緋糸の手括り、手織りなどの工程を紹介。

'92・'93年度(日経映像) ◎◎黒崎洋一 ◎小谷田亘 ◎大木大介 ◎松橋仁之 ◎中島茂之 ◎佐藤慶

11 12/11 日 0:00pm 1/13 金 6:00pm

ちゅうきん さいとうあきら
鍍金 - 齋藤明のわざ - (30分・35mm・カラー)

伝統的な鍍金一筋に研鑽を積んだ齋藤明のわざ。異なる種類の金属を一つの鍍型に鍍込む「吹分け」の技法を用いた《蠟型吹分花器 北辛》の制作工程を記録。

'94年度(記録映画社) ◎◎山添哲 ◎金山富男、古川直木 ◎森澤蔵 ◎伊藤忍 ◎出川史郎 ◎伊藤忍一

おんたやし
小鹿田焼 (34分・35mm・カラー)

大分県日田市皿山地区で300年にわたり焼造され、地域的特色が顕著な技法を今日に伝えている小鹿田焼。陶土づくり、釉薬づくり、ろくろ成形、飛び鉋などの模様付け、登窯による焼成など、伝統技法とその工程を記録。

'95年度(桜映画社) ◎◎村山正実 ◎西山東男 ◎森澤蔵 ◎山崎宏 ◎相川浩

12 12/11 日 3:00pm 12/23 金・祝 0:00pm

もくこうげい なかだいずいしん くりもの
木工芸 - 中基瑞真の割物 - (30分・35mm・カラー)

茶道の棚物といった桐材指物などの制作を多く手がけ、特に桐材の割物に独自の作風を確立した中基瑞真。《桐菱形輪花盛器》の制作工程を記録。

'95年度(毎日映画社) ◎◎石井敏朗 ◎上原新次 ◎祐村徹夫 ◎井形正 ◎原正美 ◎麦人

たんきん おくやまほうせき
鍛金 - 奥山峰石のわざ - (30分・35mm・カラー)

金属を槌で打って造形する鍛金技法により、多彩な制作活動を展開する奥山峰石。打込象嵌などの装飾的な技法も多彩にこなす。《打込象嵌花器 若芽》の制作工程を記録。

'96年度(岩波映画製作所) ◎◎松川八洲雄 ◎八木義順 ◎藤来義門 ◎弦巻裕 ◎中西妙子

13 12/16 金 2:00pm 12/24 土 3:00pm

きんま おおたひとし
蒔髷 - 太田備のわざ - (43分・35mm・カラー)

漆面を蒔髷彫(彫刻刀)で彫り色漆を埋めて研ぎ出す蒔髷の技法。独自の「布目彫蒔髷」技法を駆使する太田備が、竹を編んだ素地に漆を塗って文様を彫り、作品《監胎蒔髷茶箱 春風》を完成させるまでの2年に及ぶ制作工程を記録。

'96・'97年度(日経映像) ◎◎黒崎洋一 ◎小谷田亘 ◎大木大介 ◎松橋仁之 ◎音楽効果◎山崎茂之 ◎佐藤慶

みんげいとうき じょうもんぞうかん しまおかたつぞう
民芸陶器(縄文象嵌) - 島岡達三のわざ -
(37分・35mm・カラー)

組紐を器面に転がして押痕をつくり、そこに化粧土を埋める独自の縄文象嵌技法を確立した島岡達三のわざ。《地軸縄文象嵌壺》が完成するまでの制作工程を記録。

'98年度(桜映画社) ◎◎村山正実 ◎西山東男 ◎藤来義門 ◎山崎宏 ◎堀内戦治 ◎樹木希林

14 12/16 金 6:00pm 12/25 日 0:00pm

ら きむらたけし
羅 - 北村武資のわざ - (33分・35mm・カラー)

経糸を複雑にからみ合わせ、繊細な網目状の織物を織る羅の技術。重要無形文化財「羅」の保持者・北村武資による《碧地透文羅》の凶案作りから精緻な本織りまでの工程を記録。

'99年度(日経映像) ◎◎黒崎洋一 ◎大木大介 ◎古屋熱 ◎音楽効果◎山崎茂之 ◎佐藤慶

ゆんたんざはなうい よなみねさだ
読谷山花織 - 與那嶺貞のわざ -
(30分・35mm・カラー)

八十年余途絶えていた幻の織物「読谷山花織」の復元に取り組んだ與那嶺貞。凶案作り、琉球藍などの植物染料による染色、製織の工程をたどりながら、92歳になる與那嶺のわざを記録。

2000年度(シネマ沖繩) ◎◎野村岳也 ◎與那良則 ◎山内昌信 ◎福田伸 ◎長沢勝俊 ◎国井雅比古

15 12/17 土 3:00pm 1/8 日 0:00pm

せきしゅうばんし
石州半紙 (35分・35mm・カラー)

かつての石見国、島根県西部にある三隅町(現・浜田市)。石州の人々は古来、伝統的な技を用いて強靱な和紙を漉き続けてきた。地元産の石州楮が重要無形文化財のわざによって「石州半紙」へと生まれ変わる過程を記録。

2001年度(日経映像) ◎◎黒崎洋一 ◎小谷田亘 ◎大木大介 ◎古屋熱 ◎音楽効果◎山崎茂之 ◎倉野章子

ほぎやき じゅういちだいいみわきゆうせつ おにはぎ
萩焼 - 十一代三輪休雪の鬼萩 - (37分・35mm・カラー)

94歳を迎える重要無形文化財「萩焼」の保持者、十一代三輪休雪(現・壽雪)の《鬼萩割高台茶碗》の制作工程を追いつつ、その伝統の技と斬新な造形を記録。

2002年度(桜映画社) ◎◎村山正実 ◎村山和雄 ◎本橋俊男 ◎荒井富保 ◎山崎宏 ◎佐藤慶

16 11/25 金 2:00pm 11/26 土 3:00pm

らでん きたむらしようせい
螺鈿 - 北村昭斎のわざ - (35分・35mm・カラー)

美しく輝く貝を漆器の装飾に用いる螺鈿の技法。北村昭斎の「天平の春」をテーマとした作品《瑞鳥唐花文螺鈿箱》の制作工程を記録。貝を自在に切り出して貼り毛彫を加える、螺鈿の高度な技を紹介。

2003年度(日経映像) ◎◎黒崎洋一 ◎小谷田亘 ◎大木大介 ◎古屋熱 ◎音楽効果◎山崎茂之 ◎伊武雅刀

ししゅう ふくだきじゅう
刺繍 - 福田喜重のわざ - (34分・35mm・カラー)

京都に生まれた福田喜重が、日本の伝統工芸・刺繍の技術により、《刺繍訪問着 和》を完成させるまでを記録。福田の人となり、父から高度に体得し自ら錬磨に努めた刺繍のわざを伝える。

2004年度(桜映画社) ◎◎村山正実 ◎西山東男 ◎本橋俊男 ◎荒井富保 ◎徳永由紀子 ◎杉本るみ

17 11/25 金 6:00pm 11/27 日 0:00pm

どら うおずみいらく
銅鑼 - 三代魚住為楽のわざ - (34分・35mm・カラー)

祖父・初代魚住為楽の技術を継承し、音響効果に優れた金属素材・砂張を用いて、味わいある音色の銅鑼づくりを行う三代魚住為楽。《砂張銅鑼》が完成するまでの工程を記録。

2005年度(日経映像) ◎◎黒崎洋一 ◎大木大介 ◎古屋熱 ◎音楽効果◎山崎茂之 ◎山本學

とうそにんぎょう はやしてまお
桐塑人形 - 林駒夫のわざ - (37分・35mm・カラー)

桐の挽き粉(おが屑)と生麩糊を練り上げた弾力性のある粘土状の素材を用いて制作する桐塑人形。林駒夫が《左近の櫻》を完成させる迄の制作工程を記録。

2006年度(桜映画社) ◎◎村山正実 ◎山屋恵司 ◎本橋俊男 ◎徳永由紀子 ◎荒井富保 ◎山川静夫

18 11/26 日 0:00pm 11/27 日 3:00pm

もくこうげい なかがわきよつぐ
木工芸 - 中川清司のわざ - (33分・35mm・カラー)

杉やさわらなどの軟木を用いる指物技法を高度に体得し、木画や寄木による文様技法を駆使する中川清司に密着して、《神代杉木画箱》が完成するまでを記録。

2007年度(日経映像) ◎◎有泉寧 ◎佐野文男 ◎大木大介 ◎古屋熱 ◎音楽効果◎山崎茂之 ◎窪田等

はくじ いのうえまんじ
白磁 - 井上萬二のわざ - (35分・35mm・カラー)

白磁そのものの清浄な魅力を見出し、卓越したロクロの技による造形美を追求してきた井上萬二。《白磁花形染麦彫文鉢》の制作工程を記録。

2008年度(桜映画社) ◎◎村山正実 ◎山屋恵司 ◎本橋俊男 ◎山崎宏 ◎荒井富保 ◎広瀬修子

19 12/17 日 0:00pm 1/15 日 3:00pm

沈金 一前史雄のわざー (37分・35mm・カラー)

漆面に沈金ノミ(彫刻刀)で文様を彫り、彫溝に漆を摺り込み金粉などを埋める沈金の技法。前史雄が自ら考案した角ノミなど数種類の沈金ノミで文様を彫り、プラチナ粉や松煙を埋め、《沈金箱 幽玄》を完成させるまでを記録。

2009年度(桜映画社) 監 村山正実 監 山屋恵司 監 佐藤大和 監 山崎宏 監 荒井富保 監 加賀美幸子 監 榎木孝明

釉裏金彩 一吉田美統のわざー (32分・35mm・カラー)

磁器の素地に九谷色絵の上絵具を掛け本焼きした地色をつくり、文様に切った金箔を焼き付け、全面に透明釉を掛け焼き上げる釉裏金彩の技法。吉田美統が《釉裏金彩 椿文飾皿》を制作する工程を記録。

2010年度(山陽映画) 監 日下部水榊 監 故倉好平、平岡隆、太田哲哉 監 木戸美紹、中川逸人 監 塚村俊孝 監 湯浅真由美

鑄金 一太澤光民のわざー (36分・35mm・カラー)

高岡の伝統的な焼型鑄造の技法を高度に体得し、「鑄ぐるみ」と呼ばれる独自の技法を追求する太澤光民。《鑄ぐるみ 銅鎗花器 地から宙から》を完成させるまでの制作工程を記録。

2010年度(グループ現代) 監 小泉修吉 監 今井友樹 監 堀田泰寛 監 伴野功 監 鈴木勉 監 糸博

21 12/18 日 0:00pm 12/23 金・祝 3:00pm

彫金 一桂盛仁のわざー (34分・35mm・カラー)

伝統的な彫金技法による小金具の制作を得意とする桂盛仁が、四分一を主素材とし、各種彫金技法を用いて《殿様蛙帯留金具》を完成させるまでの工程を記録。

2010年度(日経映像) 監 有泉寧 監 大木大介 監 古屋熱 監 山崎茂之 監 すまけい

鍛金 一田口壽恒のわざー (31分・35mm・カラー)

一枚の金属板を槌で打ち上げて造形する、田口壽恒の鍛金のわざ。臙銀を素材に、《鍛臙銀四方鉢》を完成させるまでの制作工程を記録。

2010年度(日経映像) 監 有泉寧 監 大木大介 監 古屋熱 監 山崎茂之 監 窪田等

20 12/18 日 3:00pm 1/7 日 0:00pm

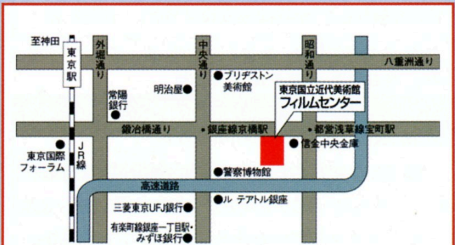
鉄釉陶器 一原清のわざー (39分・35mm・カラー)

鉄釉の特質を生かした黒釉と褐色釉の二重掛けによって動植物のおおらかな文様を表す独自の作風を確立した原清。《鉄釉花鳥文大鉢》の制作工程を記録。

2010年度(桜映画社) 監 村山正実 監 山屋恵司 監 佐藤大和 監 徳永由紀子 監 荒井富保 監 湯浅真由美

■ 監 = 監督・演出 脚 = 脚本 構 = 構成
 撮 = 撮影 照 = 照明 録 = 録音 音 = 音楽・作曲
 解 = 解説・かたり・ナレーター

■ 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

(交通) 東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
 JR京橋駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル 03-5777-8600
 東京国立近代美術館ホームページ:
<http://www.momat.go.jp/>

関連企画

所蔵作品展 人間国宝と近代工芸の名品
 Masterpieces of Modern Crafts and Living National Treasures from the Museum Collection



増村益城《乾漆朱輪花盤》1983年 東京国立近代美術館寄託品

工芸館では、重要無形文化財保持者(いわゆる人間国宝)を中心とした伝統工芸のわざの料を表す作品や、現代工芸の展開を代表する作品など、国内外の近代工芸およびデザインの重要な作品を収蔵してきました。そうした約3000点に及ぶ所蔵作品のうちから、主に戦後の名品を厳選して、約110点を陳列します。特に今回は、文化庁「工芸技術記録映画」に関係する重要な作品約60点を特集します。

・詳細は当該チラシ、東京国立近代美術館のホームページをご覧ください。

2011年11月22日(火) - 2012年1月29日(日)
 東京国立近代美術館工芸館
 東京都千代田区北の丸公園1-1

休館日: 月曜日(ただし1月2日、1月9日は開館)、
 12月28日(水) - 1月1日(日・祝)、1月10日(火)
 開館時間: 午前10時 - 午後5時(入館は午後4時30分まで)
 料金: 一般200円(100円) / 大学生70円(40円) / 高校生以下及び18歳未満・65歳以上・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料
 * ()内は20名以上の団体料金です。
 * 割引・無料には、学生証、年齢のわかるもの、障害者手帳等の提示が必要です。
 ・無料観覧日: 12月4日(日)、1月2日(月・祝)

	金曜日	土曜日	日曜日
11月	16 螺鈿 - 北村昭斎のわざー 2:00pm 刺繍 - 福田喜重のわざー (計69分)	18 木工芸 - 中川清司のわざー 0:00pm 白磁 - 井上萬二のわざー (計68分)	17 銅鑪 - 三代魚住為業のわざー 0:00pm 桐壺人形 - 林駒夫のわざー (計71分)
	17 銅鑪 - 三代魚住為業のわざー 6:00pm 桐壺人形 - 林駒夫のわざー (計71分)	16 螺鈿 - 北村昭斎のわざー 3:00pm 刺繍 - 福田喜重のわざー (計69分)	18 木工芸 - 中川清司のわざー 3:00pm 白磁 - 井上萬二のわざー (計68分)
12月	1 蒔絵 - 松田権六のわざー 2:00pm 色鍋島 (計60分)	3 日本刀 - 宮入行平のわざー 0:00pm 伊勢型紙 (計65分)	5 彫金 - 鹿島一谷のわざー 0:00pm 越後上布 (計74分)
	2 有職織物 - 喜多川平朝のわざー 6:00pm 手漉和紙 (計61分)	4 柿右衛門 - にごしで - 3:00pm 彫漆 - 音丸耕堂のわざー (計60分)	6 髹漆 - 増村益城のわざー 3:00pm 茶の湯釜 - 角谷一圭のわざー (計63分)
	7 型染め - 江戸小紋と長板中形 - 2:00pm 蒔絵 - 大場松魚の平文のわざー (計62分)	9 木工芸 - 大野昭和齋の指物のわざー 0:00pm 久留米餅 (計60分)	11 鑄金 - 齋藤明のわざー 0:00pm 小鹿田焼 (計64分)
	8 蒔絵 - 寺井直次の卵殻のわざー 6:00pm 友禅 - 森口華弘のわざー (計60分)	10 竹工芸 - 飯塚小疋齋のわざー 3:00pm 宮古上布 (計70分)	12 木工芸 - 中基瑞真の割物のわざー 3:00pm 鍛金 - 奥山峰石のわざー (計60分)
	13 蒔絵 - 太田備のわざー 2:00pm 民芸陶器(縄文象嵌) - 島岡達三のわざー (計80分)	19 沈金 - 前史雄のわざー 0:00pm 釉裏金彩 - 吉田美統のわざー (計69分)	21 彫金 - 桂盛仁のわざー 0:00pm 鍛金 - 田口壽恒のわざー (計65分)
	14 羅 - 北村武資のわざー 6:00pm 読谷山花織 - 與那嶺貞のわざー (計63分)	15 石州半紙 3:00pm 萩焼 - 十一代三輪休雪の鬼萩 - (計72分)	20 鉄釉陶器 - 原清のわざー 3:00pm 鑄金 - 太澤光民のわざー (計75分)
	12 木工芸 - 中基瑞真の割物のわざー 0:00pm 鍛金 - 奥山峰石のわざー (計60分)	2 有職織物 - 喜多川平朝のわざー 0:00pm 手漉和紙 (計61分)	14 羅 - 北村武資のわざー 0:00pm 読谷山花織 - 與那嶺貞のわざー (計63分)
21 彫金 - 桂盛仁のわざー 3:00pm 鍛金 - 田口壽恒のわざー (計65分)	13 蒔絵 - 太田備のわざー 3:00pm 民芸陶器(縄文象嵌) - 島岡達三のわざー (計80分)	7 型染め - 江戸小紋と長板中形 - 3:00pm 蒔絵 - 大場松魚の平文のわざー (計62分)	
1月	6 髹漆 - 増村益城のわざー 2:00pm 茶の湯釜 - 角谷一圭のわざー (計63分)	20 鉄釉陶器 - 原清のわざー 0:00pm 鑄金 - 太澤光民のわざー (計75分)	15 石州半紙 0:00pm 萩焼 - 十一代三輪休雪の鬼萩 - (計72分)
	3 日本刀 - 宮入行平のわざー 6:00pm 伊勢型紙 (計65分)	5 彫金 - 鹿島一谷のわざー 3:00pm 越後上布 (計74分)	9 木工芸 - 大野昭和齋の指物のわざー 3:00pm 久留米餅 (計60分)
	10 竹工芸 - 飯塚小疋齋のわざー 2:00pm 宮古上布 (計70分)	8 蒔絵 - 寺井直次の卵殻のわざー 0:00pm 友禅 - 森口華弘のわざー (計60分)	4 柿右衛門 - にごしで - 0:00pm 彫漆 - 音丸耕堂のわざー (計60分)
	11 鑄金 - 齋藤明のわざー 6:00pm 小鹿田焼 (計64分)	1 蒔絵 - 松田権六のわざー 3:00pm 色鍋島 (計60分)	19 沈金 - 前史雄のわざー 3:00pm 釉裏金彩 - 吉田美統のわざー (計69分)